

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	青少年の健全育成に関する基礎的調査研究事業		担当部局庁	スポーツ・青少年局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度～		担当課室	青少年課		青少年課長	勝山 浩司	
会計区分	一般会計		施策名	Ⅱ-3. 青少年の健全育成				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	子ども・若者ビジョン(平成22年7月23日子ども・若者育成支援推進本部決定)、新成長戦略(平成22年6月18日閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国全体の青少年教育の振興を体系的に図っていくため、青少年に関する実態について把握し、青少年の健全な育成に関する国の施策の企画・立案等に反映させるとともに、地域レベルでの青少年教育の推進に資するよう成果を自治体等を通じて広く普及させる。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>学識経験者、青少年団体関係者並びに地方自治体職員等で構成される青少年健全育成推進委員会を設置し、これまで行ってきた事業の成果や検証、今後進めるべき施策を検討するとともに、必要となる調査研究についてテーマ等を策定する。調査研究の実施自体は、テーマに専門的な知見のある外部機関に委託し、青少年健全育成施策に関する基礎的並びに実践的・具体的な調査研究を実施する。</p> <p>また、文部科学省における活用のみならず、地方自治体における青少年健全育成施策に係る企画・立案や、教育機関・青少年関係団体等において事業計画等を策定する際の基礎的・実践的資料として活用するため、意見交換の場を設け、調査研究成果の普及・啓発を図る。</p>							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算					100	
		繰越し等						
		計					100	
	執行額							
	執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	当該事業の目的は、青少年教育の実態を把握し、研究成果について、青少年健全育成施策に係る企画・立案等に活用するとともに、その成果を普及することにあるため、定量的な成果目標を示すことは困難である。		成果実績					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	調査研究実施予定数		活動実績(当初見込み)	テーマ				※24年度の活動見込である (6)
単位当たりコスト	13, 153, 167(円/テーマ)		算出根拠	○ 1テーマの調査研究に係るコスト X/Y=13, 153, 167(円/テーマ) X:78, 919, 000円(当該事業委託額) Y:6テーマ(実施予定テーマ数)				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	諸謝金		3.4百万					
	職員旅費		3.8百万					
	委員等旅費		6.7百万					
	庁費		7.2百万					
	初等中等教育等振興事業委託費		78.9百万					
	計		100百万					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		<p>・これまで地域レベルでの青少年教育については、その実態が客観的なデータや調査研究によって必ずしも把握されていなかったり、地域ごとにばらばらな取組を行って、地域間の情報共有が十分になされていない面があるため、調査研究により青少年教育に関する実態について把握し、その成果の普及を図る本事業は、我が国の青少年教育の振興を体系的に図っていくという点で効果的な事業である。</p> <p>・現在の国の厳しい財政状況下において、調査研究成果を広く地方自治体や民間団体に情報提供し、地域レベルでの自主的な取組を促していくことは、我が国の青少年の健全育成を図るために必要な国の役割である。</p> <p>・本事業は、研究成果について、青少年健全育成施策に係る企画・立案等に活用するとともに、その成果を普及することを目的としており、我が国の今後の青少年教育に資するものであるため、必要不可欠な事業である。</p> <p>・本事業の目的を勘案し、調査研究テーマの策定、調査研究の実施、研究成果の報告等に要する経費を計上しており、真に必要なものに限定している。</p>	
予算監視・効率化チームの所見			
		<p>本事業は、定量的な成果目標を立てることは困難な事業であるが、事業効果について適切に検討されるとともに、費目・使途の精査も十分されている。広く国民のニーズに応える事業でもあり、当省の事業として実施することが必要と認められる。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※当該資金の流れは、予算積算場において想定される資金の流れを記載したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。

文部科学省
100百万円

諸謝金 3.4百万円
職員旅費 3.8百万円
委員等旅費 6.7百万円
庁費 7.2百万円 } 含む

学識経験者、青少年団体関係者並びに地方自治体職員等で構成される青少年健全育成推進委員会を設置し、これまで行ってきた事業の成果や検証、今後進めるべき施策を検討するとともに、必要となる調査研究についてテーマ等を策定する。

また、調査研究における成果を、青少年健全育成施策に係る企画・立案や、教育機関・青少年関係団体等において事業計画等を策定する際の基礎的・実践的資料として活用するため、意見交換の場を設け、調査研究成果の報告・普及を図る。

【一般競争入札・委託】 【一般競争入札・委託】 【一般競争入札・委託】 【一般競争入札・委託】 【一般競争入札・委託】 【一般競争入札・委託】

A 調査研究の実施 大学、民間団体等全1団体 13.15百万円	B 調査研究の実施 大学、民間団体等全1団体 13.15百万円	C 調査研究の実施 大学、民間団体等全1団体 13.15百万円	D 調査研究の実施 大学、民間団体等全1団体 13.15百万円	E 調査研究の実施 大学、民間団体等全1団体 13.15百万円	F 調査研究の実施 大学、民間団体等全1団体 13.15百万円
---------------------------------------	---------------------------------------	---------------------------------------	---------------------------------------	---------------------------------------	---------------------------------------

青少年健全育成推進委員会において策定されたテーマについて、青少年健全育成施策に関する基礎的並びに実践的・具体的な調査研究を実施する。

青少年健全育成推進委員会において策定されたテーマについて、青少年健全育成施策に関する基礎的並びに実践的・具体的な調査研究を実施する。

青少年健全育成推進委員会において策定されたテーマについて、青少年健全育成施策に関する基礎的並びに実践的・具体的な調査研究を実施する。

青少年健全育成推進委員会において策定されたテーマについて、青少年健全育成施策に関する基礎的並びに実践的・具体的な調査研究を実施する。

青少年健全育成推進委員会において策定されたテーマについて、青少年健全育成施策に関する基礎的並びに実践的・具体的な調査研究を実施する。

青少年健全育成推進委員会において策定されたテーマについて、青少年健全育成施策に関する基礎的並びに実践的・具体的な調査研究を実施する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単位:
百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A. 調査研究の実施			E. 調査研究の実施		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	@13, 153千円×1団体	13.15	委託費	@13, 153千円×1団体	13.15
計		13.15	計		13.15
B. 調査研究の実施			F. 調査研究の実施		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	@13, 153千円×1団体	13.15	委託費	@13, 153千円×1団体	13.15
計		13.15	計		13.15
C. 調査研究の実施			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	@13, 153千円×1団体	13.15			
計		13.15	計		0
D. 調査研究の実施			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	@13, 153千円×1団体	13.15			
計		13.15	計		0